

令和4年 1月 17日

報道機関 各位

記者発表のご案内

作品展示販売『市民がつくるたのしい鋳物』展 —産学官連携事業 やさしい・いものプロジェクト—

展示販売：2022年2月25日（金）～3月6日（日）

10～18時、最終日は16時まで

ただし、3月2日（水）は、展示販売会場は休業

展示会場：御旅屋セリオ2階 特設会場（高岡市御旅屋町101）

上記展覧会の記者発表会を以下の通り開催いたします。内容の詳細資料は当日配布いたします。

記者発表の日時：2022年1月21日（金）14時～

記者発表の場所：御旅屋セリオ 5階 マルチスペース 会議室 A

発表会 主催：産学官連携事業 やさしい・いものプロジェクト実行委員会
（富山大学芸術文化学部、(株)能作、高岡市デザイン・工芸センター、オタヤ開発(株)

説明者：三船温尚（富山大学）、能作克治（(株)能作）、日野利（高岡市デザイン・工芸センター）、藤田衛治（オタヤ開発(株)）

1 経緯と展示内容

2019年11月から(株)能作の鋳造工場に市民が集まって第1回、第2回の鋳造をおこないましたが、コロナウイルス感染拡大で、3回以降は富山大学芸術文化学部の鋳造室で第12回まで少人数で実施しました。このたび、市民がつくった249点の鋳物作品を展示し、市民が購入する、市民が主役の鋳物の展覧会を、鋳物の街 高岡で初開催いたします。

2 これまでにない特色と展望

1) 長い歴史を持つ高岡の鋳物産業のなかで、市民が伝統工芸の鋳物工場に入り込んで制作することは初めての試みで、これまでにない新しい製品が現場から生まれました。全国の産業工芸産地にも波及して各地で新たな流れが期待できます。

2) 地場の鋳物をとおして、市民につくる楽しさ、売る楽しさ、買う楽しさ、使う楽しさを体感していただき新しい流れが生まれるのではないかと企画した事業です。鋳物でこれを実現できるのは世界のなかでも鋳物の街 高岡だけで、他の地域には無い特色です。このプロジェクトは、これまでの高岡鋳物の生産とは全く異なる角度、視点からの取り組みです。参加者の皆さんのアイデアや工夫で制作された「たのしい鋳物」がたくさん生まれました。今後の高岡鋳物の「新たな要素」として発展することが期待できます。

3) 技術的には、「原型をつくらないで、原型をつかわないで、鋳型を彫る・押す生型鋳造法」、「錫 15%、銅 85%の青銅使用」の 2 点が他にない新規的な特徴です。

原型を使わない方法は、熟練技術が無い市民も楽しむことができ、鋳型を直接彫ることでアイデアを短時間で即興的に青銅に置きかえることができます。そのために、作者のその時の感性を形にすることができます。

錫 15%、銅 85%の高錫青銅は、富山大学の古代青銅鏡(青銅鏡の成分は錫 23%、銅 77%、鉛少々)の研究によって始まった成分比で、薄く細い隙間に青銅を流すことができ鋳造欠陥が少ないという利点があります。

4) これまでの銅器は市民が完成品を購入し使ってきました。しかし、このプロジェクトの作品は、購入した市民が自宅で、紙ヤスリなどでさらに磨いて購入者の感覚で光らせて楽しむことができます。「買って使って楽しむ鋳物」に、「買って磨いて楽しむ鋳物」が加わり、これは新しい商品の視点です。青銅の鋳物は購入者が磨くことに適した素材といえます。そして、プロジェクトの作品たちは、それを受け入れる雰囲気を持っています。

このプロジェクトが、日本各地の伝統工芸産業の新たな始まりになることを期待しています。

雪の多い季節ですが、記者発表にはぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学芸術系総務・学務課 総務・研究協力チーム 長井

TEL : 0766-25-9117 (直通) Email : tiikiko@adm.u-toyama.ac.jp

作品展示販売

産学官連携事業 やさしい・いものプロジェクト

市民がつくるたのしい鑄物



あぶく

カンティンスキー



クマのはしおき



ウサギのはしおき



あじ

じゅうを持ってバイクでとうそうしている人



かみなりさま

つる



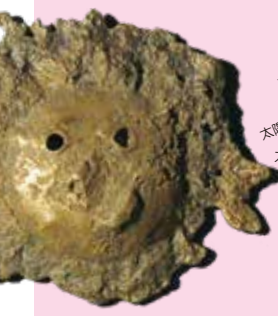
木の花



もろもろこし



あさひのこ

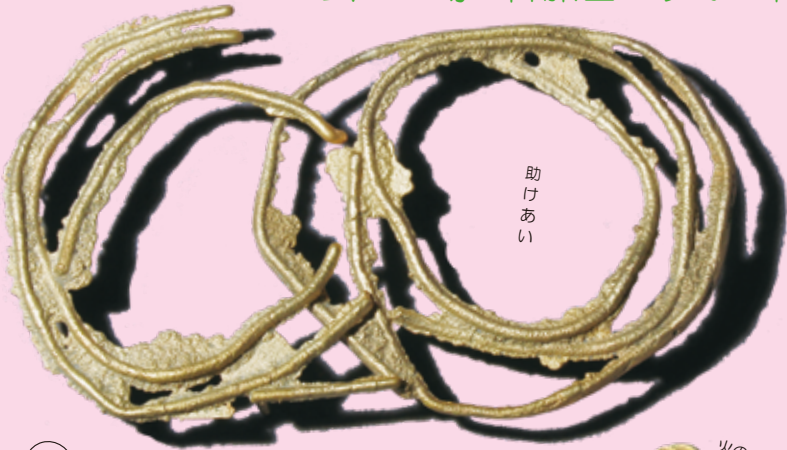


太陽サン
太陽サン
太陽サン

展示販売：2022年2月25日（金）～3月6日（日）

10～18時、最終日は16時まで。 ※3月2日（水）は、2階の展示販売会場は《休業》

会場：御旅屋セリオ2階 特設会場（高岡市御旅屋町101）



助けあい



藤の実（きょうだい）



貝



洗濯バサミ2



火の小鳥



小魚の皿



ぐるぐるエスカルゴ小



うつつ

小学生から70歳代までの市民が参加した、新しい方法による鑄物作品249点を展示販売いたします。鑄物に初めて挑戦した市民の自由で楽しい作品です。販売価格は参加者が付けました。これまで見たことのない鑄物がたくさん生まれました。ぜひご覧ください。

作品展示販売《市民がつくるたのしい鑄物》 問合せ：オタヤ開発（TEL 0766-27-1850）

産学官連携事業 やさしい・いものプロジェクト実行委員会：富山大学芸術文化学部、機能作、高岡市デザイン・工芸センター、オタヤ開発
後援：榊大和富山店、NPO法人たかおか共創ネット



エトナ
エトナ